

令和 5年度 シラバス 教科【保健体育】 科目【保健（1年生）】

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	個人及び社会生活における健康・安全について理解できる	自らの健康を適切に管理し、改善していくことができる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて考えることができる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者に伝えることができる。	自他の健康の保持増進について積極的に考え、明るく豊かで活力ある生活を目指している。	健康の保持増進やそれを支える環境づくりについて、様々な意見を参考に考えを深めることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
評価の観点 の趣旨	現代社会と健康、安全な社会生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。		現代社会と健康、安全な社会生活について、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。		現代社会と健康、安全な社会生活について関心もち、主体的に学習に取り組もうとしている。		
評価の方法	単元テスト 小テスト ワークシート	ワークシート	単元テスト ワークシート	単元テスト グループワーク ワークシート	グループワーク ワークシート 観察	グループワーク ワークシート	グループワーク ワークシート

年間計画

単元	学習内容	配当時間	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
健康の考え方	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 健康に関する意志決定・行動選択 健康に関する環境づくり	5	【理解力】 わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。 【受容力】 健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について関心を持ち、話し合いや意見交換に意欲的に取り組んでいる。	【知識・技能】 平均寿命の伸びと死亡率の低下、健康水準向上の背景、生活習慣病の増加、新たな健康問題について、基礎的な事項を理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について関心を持ち、学習活動に主体的に取り組んでいる。
現代の感染症とその予防	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	4	【生活力】 感染症の発症や流行には、時代や地域によって違いが見られることを理解するとともに、その適切な予防について実践することができる。	【知識・技能】 感染症の発症や流行には、時代や地域によって違いが見られることを理解すること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。
生活習慣病などの予防と回復	生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	8	【生活力】 生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ、また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 成人病、生活習慣病の呼称の由来や病例、生活習慣病の予防対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	5	【分析力】 喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防について、学習したことを個人及び社会生活と比較したり、分析するなどして説明することができる。	【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防について、学習したことを筋道を立てて説明している。
精神疾患の予防と回復	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	4	【生活力】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することができる。	【知識・技能】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気づくことが重要であることを理解している。
安全な社会づくり	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全	4	【理解力】 交通事故の要因として主体要因・環境要因・車両要因や交通事故における責任と補償について理解している。 【表現力】 安全な交通社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について説明することができる。	【知識・技能】 交通事故の現状とその要因や安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 【思考・判断・表現】 安全な社会づくりについて、学習したことを筋道を立てて説明している。
応急手当	応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	5	【生活力】 応急手当の意義やその手順、心肺蘇生法の原理とその手順、AEDの使用について理解し、実践することができる。 【向上力】 けがの応急手当、熱中症の応急手当について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	【知識・技能】 応急手当の意義やその手順、心肺蘇生法の原理とその手順について基本的な事項を理解し、実践している。 【学びに向かう力・人間性等】 日常的な応急手当について関心を持ち、学習活動に主体的に取り組もうとしている。

備考

--